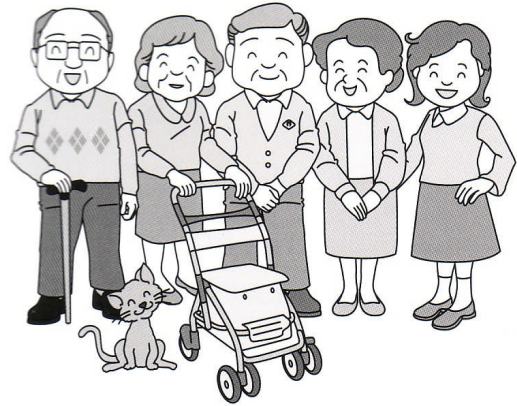

新規加入者228名

～平成24年度加入促進強化月間の取り組み結果～

このたび、平成24年9月から3ヶ月にわたり実施しました「加入促進強化月間」の取り組み結果をまとめました。

期間中の新規加入者は322名、減員を差し引いた純増は228名となりました。期間中10名以上の増員を達成したのは7クラブ、市町村では阿南市（85名）をはじめ、吉野川市（50名）、徳島市（40名）、三好市（33名）、石井町（31名）などで大幅な増員がありました。



それぞれの取り組み内容としては、独自パンフレットの作成や日常的な未加入者への呼びかけといったものから、年会費を免除するといったところもありました。

※10名以上増員達成クラブ

西富田親しみ会（徳島市）、蔵本老友会（徳島市）、不動中央寿老会（徳島市）
佐古シルバークラブ（徳島市）、黒崎北和朗会（鳴門市）、池田共楽会（三好市）、
井内長寿クラブ（三好市）

また、あわせて24年度のシルバー大学生に対するアンケート調査もまとめられ、老人クラブに入らない理由として、「加入するよう誘われたことがない」（52.6%）が最も多く、「まだ老人でないと思っている」（50.0%）、「老人クラブという名称がいやだから」（29.1%）といった理由が続きました。傾向としては「老人」ということばに対する抵抗感が依然として強いことが分かりました。

「誘われたことがない」との意見に対しては、シルバー大学生の中には、「誰かのためになる活動がしたい」との要望も強く、勧誘のタイミングや機会次第では、加入も見込まれるのではないかと思います。加入のきっかけとしても最も多いのも「誘われたから」です。各クラブにおいても、広く加入を呼びかけることで多くの仲間を迎え入れてほしいと思います。